



「令和7年度のスタートにあたって」

校長 三浦 伸之

新入生のみなさん、保護者の皆さま、はじめまして。今年度、岸川中学校2年目を迎えます、校長 三浦 伸之（みうら のぶゆき）と申します。2、3年生の保護者の皆さまには、昨年度中は大変お世話になりました。いつも岸川中学校の教育活動を温かく見守ってくださり、誠にありがとうございます。本年度もよろしくお願いいたします。

本日、新入生142名を迎え、2学年147名、3学年137名が進級し、全校生徒426名で令和7年度の岸川中学校がスタートしました。学校教育目標である、自ら学ぶ生徒 思いやりのある生徒 たくましい生徒の 奉仕を尊ぶ生徒 の具現化に向けて、教職員一同が心をつなげて、教育活動を推進してまいります。保護者・地域の皆様方におかれましては、引き続き、本校の教育活動に対してご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、この令和7年度第1号の学校だよりを発行するにあたり、昨年は「どんなことを書いていたかな？」と1年前の学校だよりを見てみると、妻と行った花見のことが書かれていました。今年が一番の満開の時には雨で出かけられず、5日の土曜日、夕方に恒例の花見散歩に行ってきました。満開の時期を過ぎ、若干、葉桜に向かってはいる桜でしたが、その繊細にして迫力ある、桜にしかない魅力は見ている者を虜にしてしまう不思議な力を感じてしまいます。私は北海道出身なので、桜＝ゴールデンウィークの花。という感覚が20代の頃まではありました。北海道のゴールデンウィークは爽やかで、カラッとしており、1年の中でも過ごしやすく最高の季節です。その反対に4月は雪解けで道も汚く、あまり好きな季節ではありませんでした。しかし、上京して初めてみた満開の桜たち。その迫力たるや、北国で見るとは全く違う、言葉では言い尽くせないもので、圧倒されたこと、そして感動したことを今でも忘れることができません。

ところで、この日本の「ソメイヨシノ」ですが、一気に絶滅するなどという話も聞いたことがあるのですが？どうやらそれは半分本当で、半分嘘とのこと。「ソメイヨシノ」の寿命は60～80年くらいらしいのですが、人が手入れをしてあげると、100年を越す木もあるとか。選定したり肥料をあげたりすることによって、寿命は延びていくらしいです。よかった。これからもこの美しい桜たちをずっと見ることができると良いですね。

今日からいよいよ令和7年度が始まります。生徒の皆さんには「自分の考えや意思を、しっかりと伝えられる。」そんな年にしたいと思っています。これからは、日本国内ではなく世界と渡り合える、そんな人材が必要になってきます。私も演奏家だった頃に他の国の演奏家の先生たちから「あなたはどの演奏したいんだ。あなたの演奏なんだから、あなたの意思や考えをもっと積極的に出しなさい。私がいちいち指図するものではない。」と言われたことがあります。海外の方は、このように「自分の意思」をととても大切にします。是非、みなさんも「自分の意思を、自分の考えをしっかりと伝える。ただし、伝える時には、相手に敬意を払う。」ということを目標に、この1年を過ごしてみてください。